

光の

威力

本町が平成21年度から整備を行ってきた地域情報通信基盤整備事業
町内全域に光ファイバー網を張り巡らせるという大規模な事業
環境が整った今、その能力を最大に発揮し
今までの地域間での情報格差を解消します



情報格差の解消

平成21年度、本町は総事業費27億円(国からの補助20億円)。地域情報通信基盤整備推進交付金(他)で、町内全域に光ファイバー網の整備を行いました。

この事業の内容は、①地デジ難視聴地域の解消②インターネット環境の整備③老朽化した防災行政無線の整備が主なもので、これにより、地域間の格差が一気に解消されることとなります。

▼地上デジタル放送

難視聴地域の解消

山間部に位置する本町には、地区によってはアンテナを立てても地上デジタル放送を見ることができない地域があります。その場合、「宇和島ケーブルテレビ」と契約を交わすことで平成23年7月24日にアナログ放送が終了した後でもテレビを見ることができるようになりました。また、宇和島ケーブルテレビに加入されていると、平成27年3月31日までは、ご自宅のアナログテレビのままで放送を見ることがができます。

▼インターネット通信の高速化

光ファイバーケーブル通信を活用することで、これまでの通信速度より格段にスピー

ドアップが図れるようになりました。なおかつ、距離や時間帯に関係なく、いつでも通信速度の速いインターネット環境が維持できます。

かつては、居住地や利用するウェブサイトによって「データ量が多くてなかなか表示されない」、「動画やデータのダウンロードが遅い」という症状がしばしば起こっていました。しかし、光ファイバーはそれらの症状を解消し、快適にインターネットが楽しめます。

▼告知端末

屋外での定時放送は4月から廃止され、申し込みのあった家庭に設置している告知端末から聞くことができるようになりました。(夕方のみの放送)。

老朽化が進んでいる放送設備は、故障や雑音の混入、場所によっては聞き取りにくいなど、さまざまな問題を抱えています。したが、告知端末を設置することで、宅内にながら鮮明に放送を聞くことができるようになりました。また、旅行などで留守にしていた場合でも、過去5日分の定時放送を繰り返し聞くことができるため、聞き逃しの心配もありません。